

# 大学生と農山漁村との連携事例



流通科学大学

実施主体名:小野市・いちいちプロジェクト

担当窓口

人間社会学部観光学科西村ゼミ

URL

<https://www.umds.ac.jp/250421/>



## 活動内容

小野市アンテナショップ「いちいち」を拠点に、学生が地域特産トマトの価値向上に取り組んだ。トマト農家へのフィールドワークを通じて規格外品やフードロスなどの課題を調査し、トリコデルマ菌と堆肥を活用した循環型農業の取り組みを学んだ。収穫後は「いちいち」で食べ比べイベントや販売を行い、品質の違いや栽培方法を発信した。学生が消費者調査も実施し、地域ブランド化に向けたデータ収集と情報発信を行った。



## きっかけ

2024年4月にオープンした小野市アンテナショップ「いちいち」の認知拡大を小野市役所から依頼されたことである。学生がトマト農家へのフィールドワークを行い、トリコデルマ菌を活用した栽培の特徴を調査し、食べ比べイベントや販売を通じて地域資源の魅力発信に取り組んだ。



## 展望

今後は、「いちいち」を拠点にトマトの認知拡大と地域ブランド化を進めるとともに、食べ比べデータや消費者調査を活用して「小野うまいもんブランド」認定や新たな商品開発につなげていく。また、学生と地域が連携した継続的な地域発信モデルとして発展させていく。



(いちいちのフィールドワーク)



(トマトの定植)



(トマト食べ比べイベント)



(トマトの収穫)